

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年12月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671000273
法人名	医療法人 微笑会
事業所名	グループホーム えがお
所在地	鹿児島県指宿市十町2392番地2 (電話) 0993-22-4090
自己評価作成日	平成30年11月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年11月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

全職員が日々の向上の為、内部・外部の研修会に参加して認知症などや、その他の分野でも勉強できる環境を作っている。また、入居前のように過ごせるように、元農家の方と畑を活用し芋などを作り、食事に提供している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は広い同敷地内にデイサービスセンターが隣接しており、行き来しての交流や災害時の協力体制もできている。地域の人々とも散歩の際には挨拶や会話を交わし、野菜等の差し入れがある。
- ・町内会に加入し、六月灯など地域行事にも積極的に参加する一方、敬老会などの事業所行事にも地域の人々の参加がある。地域の子どものみこし連の訪問もあり、日常的に交流している。
- ・同敷地内に母体である医療法人があり訪問看護や看護師の健康管理が行われたり、24時間医療連携体制ができ利用者家族との信頼関係につながっている。
- ・管理者は職員育成に力を入れて資格取得に向けた支援をしている。職員間のコミュニケーションも図られ、利用者との関わりを大切にして、その人らしい生活ができるように対応している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝職員全員で唱和し、理念を共有して実践へつなげている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた独自の理念で事業所内に掲示し、パンフレットにも掲載している。申し送り時に唱和、全体会議等で確認し、管理者と職員はその理念を共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	昔からの馴染みの方から野菜を頂き、入居者とも日常会話をしていただき、敬老会など行事にも参加していただいている。	町内会に加入し、六月灯など地域行事に積極的に参加している。事業所行事の敬老会などに地域住民の参加があり、野菜等の差し入れもある。子どもみこし連との交流、ボランティアの受け入れも行い、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地区の六月灯に参加したり、地域の子供達がおみこしを担いで訪問してくれる。その際、賽銭などしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事報告、インシデント、アクシデントの報告をし、市役所長寿介護課や知見者にアドバイスをいただいている。	会議は定期的に行っている。事業所の状況やヒヤリハット・事故報告・外部評価結果報告などを行い、意見交換している。そこでの意見や情報を職員で共有し、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市役所包括センターや社会福祉事務所に利用者の状況や取り組みを伝え、アドバイスを頂き、事業所に活用している。	市担当者には、必要に応じて電話や窓口に出向き相談や情報を交換して助言を貰っている。福祉課の担当者とも密に連絡している。運営推進会議を通して協力関係もあり、市主催の研修会に積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	以前は家族の了承のもと一時的に行う事もあったが、現在は身体拘束は行っていない。玄関には開閉ブザーを設置し、気付ける仕組みにしている。	身体拘束廃止委員会で3ヶ月毎に勉強会を実施している。言葉による拘束も含め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関は昼間は施錠せず、外出しそうな様子を察知したら、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止法の勉強会に参加した職員が、他職員にも伝達研修を行い、全ての職員が理解し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、成年後見制度を利用している入居者がいるため、意見を伺ったり学ぶ機会をもっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結・改定時には、十分に説明を行い、納得や理解をしていただける努力をしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>毎月、利用者の状況報告をご家族に行い、面会の際などご家族の方からも意見や要望を聞けるようにしている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いて対応している。家族からは面会や家族会・電話・運営推進会議時が意見を聞く良い機会となっている。3ヶ月毎の「えがお便り」や毎月、便りで現状を報告して、返事をもっている。コーヒータイクを取り入れて楽しみの一つにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングで職員の意見や提案を話し合い、反映させている。</p>	<p>管理者は、日頃から職員とのコミュニケーションを図り、職員会議やミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設けている。月1回の施設長会議で検討して反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	主任会議の場や職員との対話で事業所の努力や勤務状況を把握している。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員の介護レベルに応じて法人内外の研修を受け、また介護福祉士やケアマネージャーなどの資格を取るよう働きかけている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	鹿児島県・さつま半島地区のグループホーム協議会に入会しているので同業者はもちろん複合事業所の研修会にも参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス計画書作成前に本人の要望を伺い、計画書を作成しサービス計画書の内容は職員みんなが確認している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からの要望や不安を伺い、希望に添えるよう職員みんなで努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族からの要望があったサービス等については出来る限り対応していくよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と信頼関係を築けるよう居心地のいい雰囲気作りや、出来る作業は依頼し意欲ある暮らしを共に支え合う関係に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>御家族とお盆・お正月を一緒に過ごされるため外泊をしたり、外出をされ墓参りや食事に行ったりと本人を支えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者の馴染みの場所に外出したり、近所の方との関係性が途切れないようにしている。</p>	<p>親戚や地域の方の訪問を奨励し、馴染みの理・美容師の訪問や友人との交流など継続的関係が途切れないよう働きかけている。電話の取次ぎなども行っている。家族の協力で外出や外食・墓参などの際にも支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士が声を掛け合い、ホールにてコミュニケーションをとっている。耳が遠い方などには、職員が間に入り支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>他の医療機関などに入院された利用者を訪ねたり、家族の方に様子を伺っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの意向を把握し個々に合わせたケアを行い、日常会話や表情からも利用者の思いに添えるよう努めている。	アセスメントや家族からの情報を参考に、日々の関わりの中で、個々の思いや希望・意向の把握に努めている。困難な場合は家族と相談したり個々の記録等で情報を共有し、職員で話し合い、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族との会話にあわせて、これまでの暮らしや生活歴を聞き取り、職員全員が把握しサービスにつなげている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らしや夜間の様子から状況把握し、一人ひとりに合わせたケアを心がけている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議や毎月行うミーティングでその人らしい生き方を応援するように話し合い介護計画へ結びつけている。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も踏まえた担当者会議で、介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した場合には、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日利用者の個別記録を行い、職員間で情報を共有しながら更にいい介護が出来るよう努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者の環境や生い立ちによって違うのでその方のニーズに対応し必要な支援に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源はその地域のやり方に合わせて安全な暮らしが出来るように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族の希望と今までのかかりつけ医との関係により適切な医療が受けられるように支援している。訪問歯科なども家族に提案している。</p>	<p>受診は、本人及び家族の希望で支援している。協力医療機関からの2週間に1回の訪問診療がある。歯科も往診対応である。他科受診は家族の協力を得て支援している。往診先の看護師とも連携を取り、緊急時の対応などに適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の体調変化により、往診先の看護師と連携をとり、相談報告し利用者がよりよい看護が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が急変し入院したりした場合情報を提供し、また退院時に対しても相談してよりよい関係づくりをしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早い段階から看取りについて話し合いを持ったり、重症化した場合に事業所で話し合いを持ち支援に取り組んでいる。家族には、意向を聞き事業所で出来る事の説明を行っている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針を重要事項説明書に明記し、説明を行い同意を得ている。状況変化した時は、事業所でできる事を説明しながら、主治医の意見のもと、家族と話し合いを重ね、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの事例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会や事故に備え救急にやり方を学んだり事故の発生時の備えに取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時は昼夜問わず対応できるよう年2回の消防訓練を実施し、全職員が対応できる体制をつくっている。また非常時に備え材料の備蓄もしている。</p>	<p>災害マニュアルを基に年2回消防署立会いのもと、昼夜想定での避難訓練を実施している。昼間の訓練時には併設のデイサービスセンターと合同で実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置している。運営推進会議で地域との協力体制を検討している。災害時の米・缶詰・乾パン・菓子などの備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者の尊厳と権利を守るためマニュアルをもとに、その方にあった声掛けを行い、誇りやプライバシーの保護に努めている。</p>	<p>マニュアルに沿って勉強会を行い、職員の資質向上に取り組んでいる。入室や入浴介助・トイレ誘導などでは、羞恥心に対する配慮を行っている。誇りやプライバシーを損ねない対応に努めている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>いつでも利用者によりそい本人がご自分の希望や思いを伝えられるような言葉かけをし、出来る限り実現している。</p>			
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切にし、毎日が送れるよう支援している。</p>			
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>利用者の好みにあった服選びや身だしなみをし、購入するものがある時は本人や家族とも相談している。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事前にエプロンやおしぼりに準備を手伝っていただき、嚥下体操に参加。好きな物を献立にいれたり、季節の食材を取り入れ、食への関心や楽しみをもってもらっている。</p>	<p>旬の食材を使用し嗜好に配慮し、個々に応じた食事形態を工夫している。下膳や台拭きなどを職員と一緒にしたりもしている。誕生祝いに手作りケーキを作ったり、季節の行事食や団子作りなどを行い、食事が楽しみなものになるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個々に合わせた食事形態で提供し、食事量の少ない方には栄養補助食品で調整している。また水分チェックも行い、1日に必要な水分量の確保に努めている。</p>	/	
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、個々に合わせた口腔ケアを行っている。</p>	/	
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個々の排泄パターンを見極め、その人にあったトイレ誘導やオムツ交換の支援を行う。こまめにトイレ誘導をし、おむつの使用を減らせるようにしている。</p>	<p>排泄のリズムを把握し、必要に応じての声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。ポータブルトイレ利用者もいる。トイレ誘導で尿失禁が減るなどの改善された事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便チェックを行い、水分摂取の声かけや薬の調整を実施している。散歩などに行き、体を動かすようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の状況や体調に合わせて入浴できるよう、足湯もしたり重介護の方には2人で対応するなどしている。	基本的には週3回、午前中であるが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。脱衣所の温度管理に配慮し、入浴を楽しめるよう支援している。必要時にはシャワー浴や足浴での対応を行っている。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとり自由に休めるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が利用者の服用している薬について理解し、薬の変更などがあつた際は共有し把握できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>自分の役割がある事で日々やりがいのある生活が出来るように支援している。洗濯物たたみや、畑仕事、個々にあったレクリエーションを取り入れ行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>敷地内の散歩、自宅へ外出したり地域の行事に参加したり等支援している。</p>	<p>日常的には敷地内を散歩したり菜園や花壇の手入れを楽しんだりしている。個別に買い物や自宅付近に出かけたりもしている。年間計画を立て、初詣や花見・ドライブ・外食にも出かけている。家族の協力を得て外出や外食・墓参などの際にも支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>スーパーや道の駅に買い物に行き、おこづかいの残金を数えていただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族への電話の希望があれば、その都度応じている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁面などを飾り、季節を感じてもらえるように工夫している。散歩に行った際、敷地内に咲いていたくさばなをホールに飾り四季の移り変わりを感じてもらえるよう努めている。	玄関には季節の花々が飾ってある。共用の空間は広く開放的で、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。壁には利用者の作品や写真を貼付し、季節感を大事にした花や飾りつけがあり、ゆったりしたソファで四季を感じながら居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースでは、自分の気の合った利用者が同じテーブルで会話できるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族へ自宅で使用していたものを持って来ていただき、馴染みのものを使用しながら、利用者の介護度にあわせた空間づくりを行っている。	居室はベッドやクローゼットが備え付けである。家具や寝具・テレビ・ラジオ・位牌・遺影・人形・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。必要に応じてポータブルトイレが置かれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室が分かるように目印をつけている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない